### システム安全専門部会 標準策定5か年計画(2025年度版)

標準策定5か年計画の基本的考え方: 原子力施設の安全性・信頼性を高い水準の技術に基づき効果的かつ効率的に確保する観点から、原子力施設の設計・建設・運転・廃止等に関する標準を最新の技術的知見を踏まえて制定・改定することを目的とする。システム安全専門部会は、次の考え方で活動する。

### 1. 標準制定に関わる任務

- 〇標準の策定方針案を作成する。標準委員会にて認定された基本方針および策定方針に従い、標準の制定、改定、廃止の原案を策定する。
- ・原子力施設の安全設計や運転・運用における安全確保に係わる考え方、その手段および方法を中心に標準の整備を行う。炉心・燃料および発電所全体の設備の安全に係わる事項を扱う。 ・規制基準の見直し(旧指針類を含む)が予定されている。また、学会は規格基準類体系のあるべき姿を提言予定であり、詳細・具体的な仕様規定として整備する必要がある項目が抽出されている。これに基づき標準を策定していく必要がある。
- ・安全性を向上させるためには、新技術、新知見の導入をうながす必要があり継続的な調査を行う。新しい解析手法の導入も必要であり、例えば安全性向上評価届出書では、統計的安全評価手法に言及されており、トピカルレポート審査も必要である。また、PSR<sup>\*</sup>指針の技術レポート検討への期待も示されている。 ・検査制度見直しに当たり、電事連との規格類意見交換会も踏まえ、検査すべき項目、その根拠を整理して安全性を向上させる活動につなげる必要がある。安全な長期運転の達成のため、長期運転及び経年劣化管理の規格・基準体系の検討を進める。

### 2. 対外に関わる任務

- 〇標準の技術的な内容を、関係組織及び一般公衆に対して説明する。あわせて意見交換も行い、標準策定活動に関する意見、要望を評価する。
- ・標準の普及活動として、学会における標準の議論及び講習会を行う。
- ・関連部会におけるロードマップのローリング活動との意見交換を行い、最新知見、関連動向の把握に努める。
- 3. 組織に関する任務
- へに表する。 ○標準の原案策定のため、分科会及び相当する組織を設置、改組、廃止する。必要に応じてタスクグループを設置する。

	標準	種別	基準, 指針, 技	がポート(TR)	マイルス	トーン 計画	画∶▽,実績	責:▼,適宜	宜補足事項	を記載		実績	計画																				
動 専門 質目 分野	標準名称	標準種別	分科会等	状況 (制定)	5年毎 改定時期		2024				2025				2026				202	27				2028	}				2029				
国■ て○○○■枠■の■ ♥ 別日本る全様用がある主権の副会学		<ul><li>── 混な 、組と)舌年用関会 ひさ 新み評安動報しすで のれ 見が価(性が)告しるは</li></ul>	、規制委員会 見のある。 見他のある。 まのいるででいる。 まのしたででいる。 まのした。 まのした。 は他のでいる。 は他のでは、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 は	は検討を進め必要れが進捗中。 るために必要な打取組を実現するが 委員会が検討して 議論の振り返り) の安全性向上の取	Lをお措置を行っ 計置等)。 ための共通の いる「1F事故 収組みを含めた		7 8 9 10	11 12 1	2 3 4 5	5 6 7 8	8 9 10	11 12 1	2 3 4	4 5 6 7	8 9 10	11 12 1	2 3 4	5 6	7 8 9	10 11 12	2 1 2	3 4 5	6 7	8 9 10	) 11 12	1 2 3	4 5	6 7 8	9 10 11	12 1 2 3			
標準委						6/5 <b>▼</b>	9/10 ▼	12/4	3/5 <b>V</b>	6/中 <b>▽</b>	9/ <b>中</b> ▽	12/中 <b>V</b>	3/ф ▽	6/中 ▽	9/中 ▽	12/中 ▼	3/中 ▽	6/中 ▽	9/中 <b>又</b>	12/	ф 3,	∕ φ <b>▽</b>	6/中 又	9/ <b>中</b> ▽	12/ф ▼	3/¢ ∇			/ф ∇	12/中 3/ ▽ \			
システ	ム安全専門部会		1	1	T	5/8 ▼ +±36:1.+2	8/8 ▼ -ト中間報告 最	•	2/6 ▼ 5	√ √	$\nabla$	$\nabla$	▽	$\nabla$	$\nabla$	$\nabla$	▽	$\nabla$	$\nabla$	$\nabla$	$\nabla$	▽		$\nabla$	$\nabla$	$\nabla$	▽	$\nabla$	$\nabla$	∇			
	世界最高水準の安全な長期運転を効率 的に実現するための取り組みについて (体系的な標準類の再整理)	TR	長期運転体 系検討タスク	発行済 (2025.3)	_	技術レホー▼		最終報告 制 ▼ ▼ ▼			<b>45.</b> A		+		****	20.7= =# 33.7																	
	原子力発電所の高経年化対策実施基 準:2021	基準	PLM	発行済 (2021.9)	2026.9			改定原案の	策定		部会	全本報告 ▽	本報告		∇	発行 講習会													5	対定原案の策定			
運営	原子力発電所の高経年化対策実施基 準:追補版	基準		追補1(2022.6) 追補2(2023.3) 追補3(2023.6) 追補4(2024.3)	追補5 2025.6	発行 ▼ —	部会本報告 ▼ 追補:			制定発行 ▽ ▽				部会本報告 ▽ 追補			制定発: ▽ ▽	行 7 部会本報行 □ ▽ 追	告 本報告 浦2 ▽	ī	<b>#</b>	定発行 ▽ ▽ 部会 □ □	≹本報告 追補3	本報告		制定	発行 ▽ 部会 <sup>2</sup>	▲報告 本 追補4	報告 ▽	制 V			
· 保	原子力発電所の安全性向上のための 定期的な評価に関する実施基準:2023	基準		発行済 (2024.3)	2029.3	発行▼			最新知見(	の情報収集				改	文定に向けた事	前検討					改知	定原案の策!	定										
全	PSR <sup>†</sup> 指針のより良い理解のために	TR	統合的 安全性向上	発行済 (2020.12)	-		改定標準発		標準発行に伴	発行に伴い技術レポートの廃刊を検討																							
	原子力発電所の継続的な安全性向上 のためのリスク情報を活用した統合的 意思決定に関する実施基準	基準						発行済 (2020.3)	2025.3		改定原案の策定			<b>▽</b> 部会2			▽部会本	本報告 ▽本報告 制定▽ 発行▽ ▽講習会															
標	「原子力発電所の継続的な安全性向上の ためのリスク情報を活用した統合的意思 決定に関する実施基準:2019」英訳版	基準								発行済 (2022.12)	_																						
準 の 整 SAM	シビアアクシデントマネジメント 実施基準:2019	基準	SAM	発行済 (2019.6)	2024.6	部会中	間報告 委員会中▼ ▼			委員会本籍 ▽	報告	制定▽	E 発行 ▽	講習会 ▽ 重	最新知見の情	報収集		i	改定に向けた	と事前検討			改定	に向けた	事前検討								
備	PWR一次系水化学管理指針	指針		改定検討中 (2019.9)	2024.9				5.会部 7	本報告 本韓 ▽ ▽ ▽	報告 ▽	制定▽	<b>発行</b> ▽	講習会 ▽																			
	加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法 - ほう素:2023	指針		発行済 (2023.6)	2028.6	講習会 ▼												新知見の情 対訂要否検記					部会	本報告▽	本報告 ▽	制定	臣 発行 ▽	講習会 ▽					
水化	加圧水型原子炉一次冷却材の化学分 析方法 — 溶存水素:2023	指針		発行済 (2023.6)	2028.6	講習会 ▼												新知見の情 対訂要否検記					部会	本報告▽	本報告▽	制定	全 発行	講習会					
学管理	加圧水型原子炉一次冷却材の化学分 析方法 - 放射性よう素:2023	指針	水化学管理	水化学管理	水化学管理	水化学管理	発行済 (2023.6)	2028.6	講習会 ▼												新知見の情 対訂要否検討						本報告	本報告 ▽	制足	定 発行	講習会 ▽		
	加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法 - ほう素同位体比:2023	指針	"	発行済 (2023.6)	2028.6	講習会 ▼												新知見の情 <u>対訂要否検言</u>						本報告▽	本報告 ▽	制足	全 発行 ▽	講習会▽					
	PWR二次系水化学管理指針	指針	"	発行済 (2020.9)	2025.9	改	定要否検討							本報告	制定 ▽	発行 ii ▽	習会 ▽																

# システム安全専門部会 標準策定5か年計画(2025年度版)

活動 専門 項目 分野	標準名称	標準種別	分科会等	状況 (制定)	5年毎 改定時期		2024			202				2026				2027				2028				2029		
国■日にの○○■枠■の■■日にの■■日にの■■日にの■■枠■の■■日にの■■日にの■■日にの■	トの関連動向 EAの総合規制評価サービス(IRRS)、炉規 の規制の枠組みに対して勧告及び提言が の規制の枠組みに対して勧告及び提言が を性向上評価届出。安全性向上の取組み 検査制度。検査の継続的改善に向けた取組 用発電用原子炉の長期施設管理計画(劣)が 水炉安全技術・人材ロードマップ。軽水炉の 水として策定・改訂された。そのローリンが「 CD/NEAの福島第一原子力発電所事故「 を・分析に係る中間とりまとめ」の知見も活 全性向上の取組み(継続的な安全性向上に 協会規格高度化報告書学協会規格協議 象を念頭に我が国の学協会規格体系の充	が 、組化の活 の 新み評 全 が 価 全 が 低 性 え う に う は し す は し す し す し す し す し す し る し る し る し る し る	、規制委員会に 見の調査、取入。 進められて呼びる。 劣化上に繋る。 はしめられて現制。 はしめられて規制。 は書、及び 検討チームの記 規制と事業者の	れが進捗中。。。るために必要な。取組を実現する 長員会が検討して 議論の振り返り) 安全性向上の野	要な措置を行っ 措置等)。 ための共通の ている「1F事故 取組みを含めた	4 5 6	7 8 9 10	0 11 12 1 2	3 4 5 6	7 8 9	10 11 12 1	2 3	4 5 6	7 8 9 10	0 11 12 1	2 3 4	5 6 7	8 9 10	11 12 1	2 3 4	5 6 7	8 9 1	0 11 12	1 2 3	4 5 6 7 8	9 10	11 12 1 2 3	
標準	委員会					6/5	9/10 <b>V</b>	12/4	3/5 6/中 ▼ ▽	9/中 <b>▽</b>	<sup>12/‡</sup> ▽	3/中 ▽	6/中 ▽	9/中 ▽	<sup>12/‡</sup> ▽	3/中 ▽	6/中 ▽	9/中 ▽	12/ <b>申</b> ▼	3/中 ▽	6/中 ▽	9/中 ▽	12/中 ▼	3/中 ▽	6/中 ▽	9/中 <b>▽</b>	12/中 3/中 ▽ ▽	
シス	- ム安全専門部会					5/8	8/8 <b>▼</b>	11/5 2/6	▽	$\nabla$	$\nabla$	▽	$\nabla$	$\nabla$	$\nabla$	$\nabla$	$\nabla$	$\nabla$	$\nabla$	$\nabla$	$\nabla$	$\nabla$	$\nabla$	$\triangle$	∇ 7	∇	$\nabla$ $\nabla$	
	BWR水化学管理指針	指針		改定検討中 (2019.9)	2024.9	ž	部会本報告 ▼	本報告▼		終行講習会 ▽ ▽										改定	官要否検討					本報告 ▽	本報告制定 ▽ ▽	
標水準化	BWR水化学分析標準 (よう素131)	指針	·····································	- L. A. 24 55 TER	改定検討中 (2018.9)	2024.9 (※)	Ė	『会本報告 ▼			行講習会 ▽ ▽	·····································									改分	改定要否検討				5会陪	本報告▽	本報告 制定 ▽ ▽
の 学 整 管 備 理	BWR水化学分析標準 (コパルト60イオン)	指針	水化学管理	改定検討中 (2018.9)	2024.9 (※)	Ě	『会本報告 ▼	本報告 ▼		行講習会 ▽ ▽										改方	E要否検討					本報告▽	本報告制定 ▽ ▽	
	BWR水化学分析標準 (金属不純物)	ž	郡会本報告 ▼	本報告 ▼		行講習会 ▽ ▽										改定	E要否検討					本報告▽	本報告制定 ▽ ▽					

<sup>(※)</sup> 趣意書に基づき、改定時期については、当初の5年毎の改定時期である2023.9から、2024.9に変更

## システム安全専門部会 標準策定5か年計画(2025年度版)

活動	専門			状況	5年毎	202		2025	2026	2027	2028	2029		
項目	分野	標準名称種別	分科会等	(制定)	改定時期				4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4				12 1 2 3	
	■ TOO○■枠■の■ 学品を表のでは、このの●枠■の■ 学品を表します。	トの関連動向 Aの総合規制評価サービス(IRRS)、炉規法改正 の規制の枠組みに対して勧告及び提言がなされ、。フォローアップミッションが行われた。 性向上評価届出。安全性向上の取組み、新知見 資制度。検査の継続的改善に向けた取組みが進 3発電用原子炉の長期施設管理計画(劣化評価、多 が安全技術・人材ロードマップ。軽水炉の安全性「 として策定・改訂された。そのローリング活動が走 DD/NEAの福島第一原子力発電所事故10年報告書 ・分析に係る中間とりまとめ」の知見も活用してい 性向上の取組み(継続的な安全性向上に関する根 会規格高度化報告書 学協会規格協議会では規 を念頭に我が国の学協会規格体系の充実・強化。	規制委員会にの調査、取入るの調査、取入るののではでいるのででは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは	れが進捗中。 。 るために必要な 取組を実現する	措置等)。 ための共通の ている「1F事故 取組みを含めた									
	標準委		217111111111	1 12771 T 1614X	(4)主ひり(	6/5 9/10	12/4 3	3/5 6/中 9/中 12/中 3/ ▼ ▽ ▽ ▽ ▽	ф 6/ф 9/ф 12/ф 3/ф 7 ∇ ∇ ∇ ∇	6/中 9/中 12/中 : ▽ ▽ ▽ ▽	3/中 6/中 9/中 12/中 3/中 ▽ ▽ ▽ ▽ ▽	6/中 9/中 ▽ ▽	12/中 3/中 ▽ ▽	
	システ	ム安全専門部会				5/8 8/8	11/5 2/6	$\nabla$ $\nabla$ $\nabla$ $\nabla$	$\nabla$ $\nabla$ $\nabla$ $\nabla$	$\nabla$ $\nabla$ $\nabla$ $\nabla$	$\nabla$ $\nabla$ $\nabla$ $\nabla$	$\nabla$ $\nabla$ $\nabla$	▽	
		発電用軽水型原子炉の炉心及び燃料 の安全設計に関する報告書 TR		制定済 (#1改訂) (2021.9)	2026	課題の継続調査、改定検討	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	第2回改訂作業開始 ▽進捗確認	▽中間報告 ▽最終報告	· · · · · ·	国内外の最新知見調査		•	
		新設計燃料の安全の考え方に 関する報告書 TR	炉心燃料	新規	-	(▼WG,分科会にて	て適宜進捗協議)	対 国内外の最新知見調査 ▽改訂要否検討						
		原子力発電所における少数体先行使用 燃料の導入に係る実施基準:20**	炉心燃料	新規	-	▼本報告		▽本報告 ▽公衆審査 ▽講習	<b>A</b>	▽改訂要否検討 国内外の最新	f知見調査 ▽改訂要否検計			
標準の	炉心	Steady-State neutronics methods for LISO I		発行済 (2018.3発刊)	2023年予定	改訂版の	レビュー							
整備	燃料	BWRにおける過渡的な沸騰遷移後の 燃料健全性評価基準: 2003		発行済 (2003.7)	2018.7 (改定検討中)			部会本報告 委員会	∇ ∇	会本報告 委員会本報告 公衆審査 ¶ ▽ ▽ ▽ ▽	制定 発行制定 発行 ▽			
		BWRの核熱水力安定性評価基準: 2021	BWR 熱流動評価		発行済 (2021.12)	2026.12	<b>加入</b> 古田 47 代	・委員会中間報告	国内外の最新知見の収集 部会本報 ▽ ▽ 改定要否検討 部会本報告 委員会本報告 公衆	$\nabla$ $\nabla$ $\nabla$ $\nabla$				
		BWRの時間領域安定性評価基準: 基準 202x		新規	-	▼	▼	□ 日本	審査 制定 発行 ▽ ▽ 検知及び抑制に関する検討					
		統計的安全評価の実施基準:2021 基準	統計的 安全評価	発行済 (2022.3)	2027.3			国内外の最新知見の収集 ▽ 改定要否検討	改定原案作成	会本報告 委員会本報告 公衆審査 制 ▽ ▽ ▽ ▽	定 発行 講習会			
標準の普	原子力	学会の春・秋の年会での標準の議論		①標準委員会の企画 ②技術部会と連携す ③一般発表				**COTION						
及活動	標準の	)講習会				▼PWR分析標準	<b>▼</b> PSR+標準	▽LUA ▽BWR分析標準	▽SAM基準	PLM基準 !系水化学管理指針 ▽IRIDM標準	統計的安全評価の実施基準▽			
標準の開	国際的	別協調(国際会議発表、標準の英訳など)				PSR+標準 IAEAとの議論		ALL WG Phase7	IGALL WG Phase8					
関連組織連携	国内领	<b>朴の関連組織連携(関連学会、原子力学会の関連</b>	原子力学会の技術部	8会との意見交換会 原子力安全部会 核燃料部会 熱流動部会	PSAM17&	:ASRAM2024 ▼ RC IRIDM実践ガイドの	D検討							